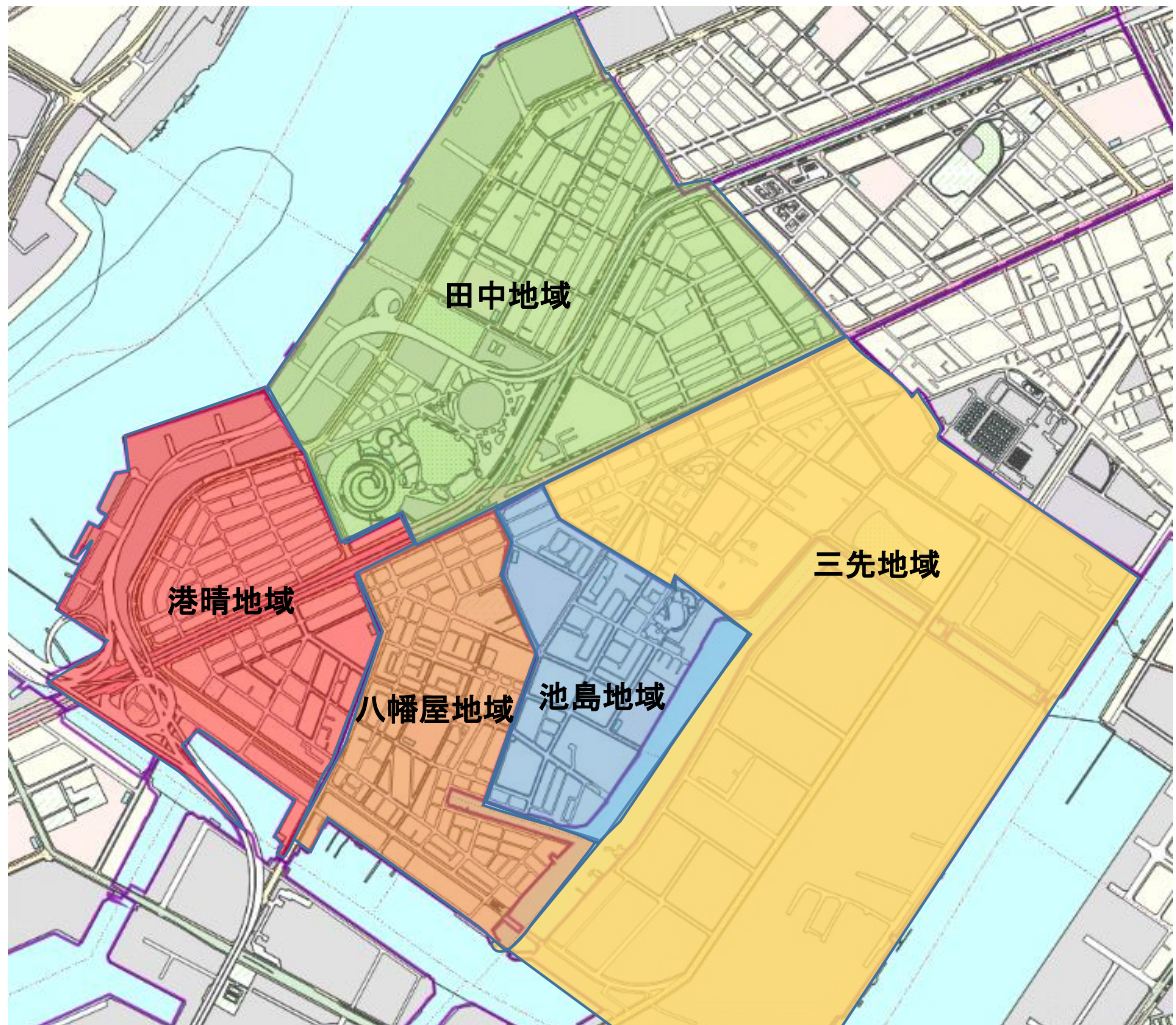


(3) 中部エリア

【中部エリアの対象地域】

田中地域、三先地域、八幡屋地域、池島地域、港晴地域



※地域の区分は、小学校区としている。

○中部エリアの概要

- 中部エリアは、Osaka Metro 中央線朝潮橋駅を中心として、総合公園である八幡屋公園が区民の憩いの場となっているとともに、大阪市中央体育館や大阪プールが整備され、国際的なスポーツ大会開催時などには多くの人々が訪れるエリアとなっています。
- みなと通以北の田中地域は、主に低層住宅が立ち並ぶ住居エリアを形成しています。また、中央大通とみなと通に挟まれた夕凧エリアは、商業地として賑わっていましたが、近年は周辺の人口減少に伴い、商業地としての賑わいは少なくなっています。

- みなと通以南の八幡屋、池島地域は、市営住宅等の団地群を形成しており、港地区復興土地地区画整理事業による基盤整備とあわせて、昭和 46 年度に池島地区が自治省のモデル・コミュニティ地区に指定され、近隣センターを中心とした良好な住宅エリアとしてのまちづくりを進めてきましたが、近年は、住民の高齢化が進行しており、商店街では空店舗も増加しています。
- 三十間堀入堀部については、令和元年度に締切堤防が完成し、防災上の課題が解消されたことから、今後は、締切堤防内の土地利用のあり方を検討していくこととしています。
- 福崎エリアは、臨港地区として物流倉庫や工場が稼働し、大阪港の港湾機能を担うエリアとなっています。

中部エリア概要図



(画像出典：マップナビおおさかをベースに加工)

○人口動態

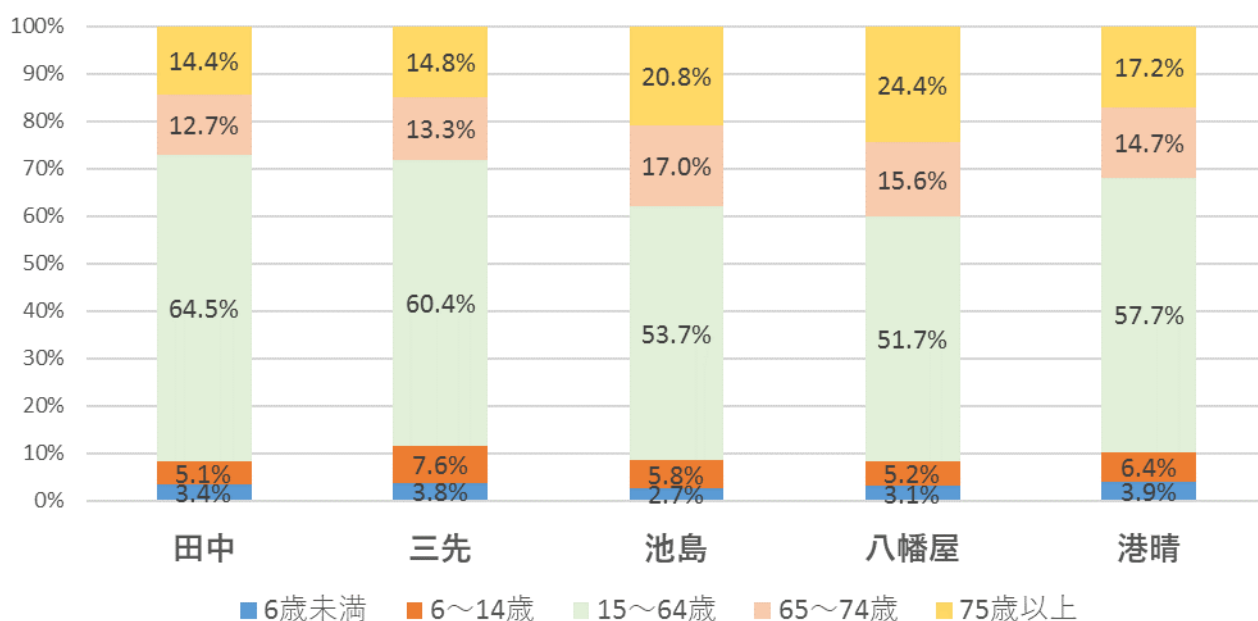
- ・中部エリアを構成する5地域は、港地区復興土地区画整理事業により、2mもの盛土を伴う基盤整備とあわせて市営住宅等の建設が進められ、港湾事業従事者をはじめとした本市の発展を支えてきた人々の住宅供給エリアとして発展してきました。
- ・しかしながら、少子高齢化の影響を大きく受け、特に八幡屋地域や池島地域は、65歳以上の高齢者の割合が30%を大きく上回っています。
- ・15歳未満の世代は、どの地域も10%前後と低い水準となっており、子育て世代の増加に資するまちづくりが必要となっています。

令和4年3月（住民基本台帳）地域別人口一覧表

（単位：人）

	田中		三先		池島		八幡屋		港晴	
6歳未満	3.4%	294	3.8%	251	2.7%	115	3.1%	157	3.9%	174
6～14歳	5.1%	446	7.6%	496	5.8%	245	5.2%	264	6.4%	285
15～64歳	64.5%	5,646	60.4%	3,946	53.7%	2,261	51.7%	2,625	57.7%	2,564
65～74歳	12.7%	1,114	13.3%	866	17.0%	715	15.6%	795	14.7%	655
75歳以上	14.4%	1,257	14.8%	969	20.8%	877	24.4%	1,240	17.2%	763
計		8,757		6,528		4,213		5,081		4,441

人口構成



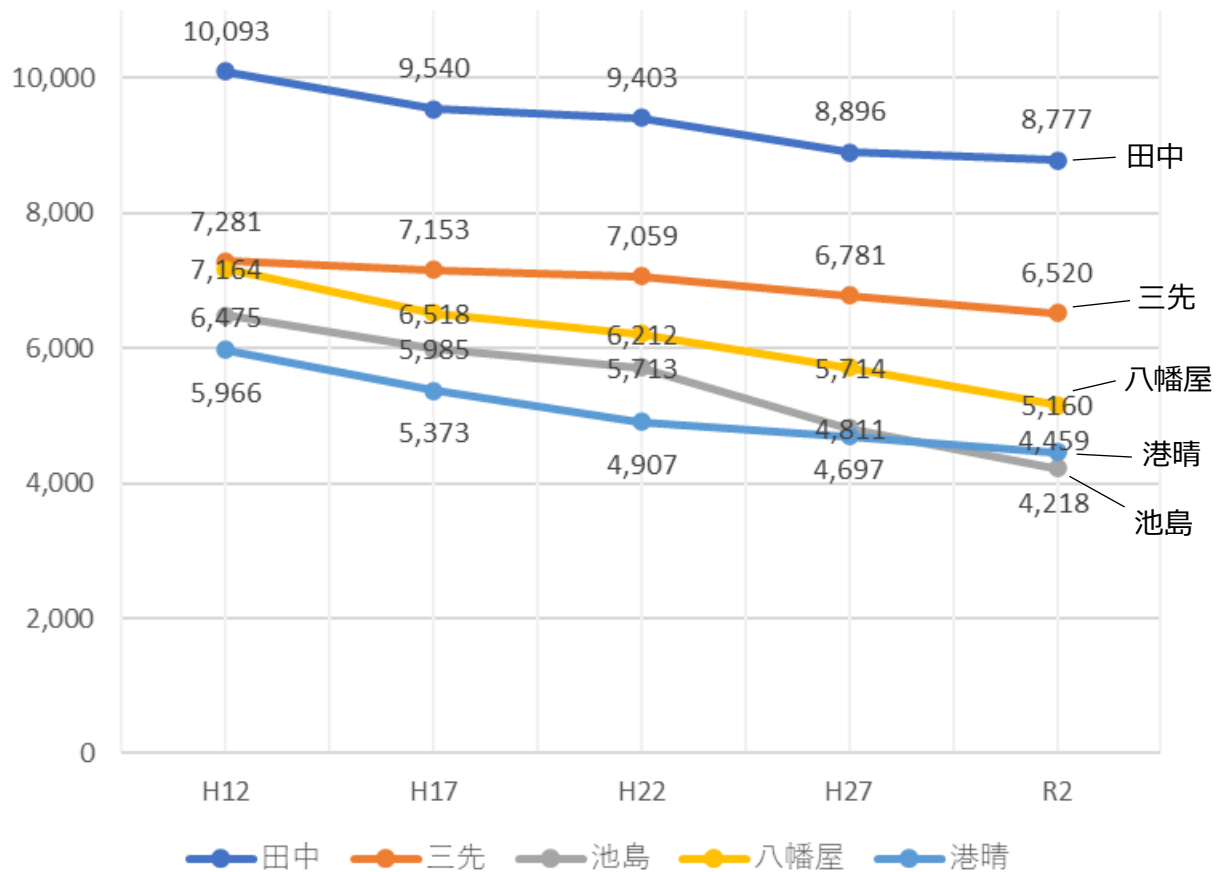
（出典：住民基本台帳人口）

地域別人口の推移（国勢調査結果）

（単位：人）

地域名	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
田中	10,093	9,540	9,403	8,896	8,777
三先	7,281	7,153	7,059	6,781	6,520
池島	6,475	5,985	5,713	4,811	4,218
八幡屋	7,164	6,518	6,212	5,714	5,160
港晴	5,966	5,373	4,907	4,697	4,459

（単位：人）



（出典：国勢調査）

○小・中学校の状況

- ・小学校は 5 校あり、三先小学校の普通学級数は、全学年で複数学級を維持していますが、池島小学校、八幡屋小学校、港晴小学校の普通学級数は、全学年で 1 学級であり、少子化の影響を大きく受けています。

校名	普通学級							特別支援学級
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	
田中	2	2	2	1	2	2	11	4
三先	2	2	2	2	2	2	12	5
池島	1	1	1	1	1	1	6	7
八幡屋	1	1	1	1	1	1	6	4
港晴	1	1	1	1	1	1	6	3

（出典：令和 4 年度学校現況調査 令和 4 年 5 月 1 日現在）

- ・中部エリアに立地する中学校は 2 校あり、港晴小学校は、築港地域にある築港中学校の校区になります。
- ・中学校についても、小学校と同様に普通学級数の減少がみられますが、港南中学校については、区内で 2 番目に多い普通学級数を有しています。
- ・港中学校の普通学級数は複数学級を維持していますが、築港中学校の普通学級数は全学年で 1 学級となっており、生徒数の減少が顕著になっています。

校名	普通学級				特別支援学級	（参考） 小学校区
	1 年	2 年	3 年	合計		
港	2	2	3	7	7	池島、八幡屋
港南	4	4	4	12	7	田中、三先、市岡 1～4
築港	1	1	1	3	1	港晴、築港

（出典：令和 4 年度学校現況調査 令和 4 年 5 月 1 日現在）

○市営住宅の状況

- ・中部エリアについては、港地区復興土地区画整理事業において大規模なかさ上げ工事とあわせて、市営住宅の建設が進められ、港区における大規模な住宅供給エリアとしての役割を担ってきました。
- ・中部エリアに立地する市営住宅については、多くが昭和 40 年代後半に建設されたものであり、大阪市営住宅ストック総合活用計画（令和 3 年 3 月）では、池島、八幡屋、三先団地のうち 950 戸で建替事業を計画しており、それ以外は、継続活用としています。

大阪市営住宅ストック総合活用計画（別冊）令和 3 年 3 月（中部エリア内を抜粋）

団地名（号館）	戸数	活用手法
池島（30～43）	420 戸	建替（Ⅰ）
八幡屋（1～14）	350 戸	
三先（6～9）	80 戸	
三先（1～5）	100 戸	建替（Ⅱ）
池島（1～2）	480 戸	継続活用
三先（10）	398 戸	
田中（1～3）	84 戸	
八幡屋第 2（1～9）	612 戸	
八幡屋第 3（1～2）	50 戸	
八幡屋第 4（1～2）	60 戸	
池島南（1）	233 戸	
八幡屋宝町（1）	107 戸	
八幡屋宝町第 2（1）	69 戸	
八幡屋宝町第 3（1）	87 戸	

※「建替（Ⅰ）」は計画期間前期の事業着手（建替事業説明会の実施）を、「建替（Ⅱ）」はそれ以降の事業着手をめざす。

事業着手時期については、状況に応じて変更となる場合がある。

○商店街

- ・中部エリアにおける港区商店会連盟に加入している商店街は、八幡屋商店街、港中央市場商人会、夕凧中央商店会、八幡屋市場商業協同組合、幸運橋市場商業協同組合の 5 か所となっています。

○イベント等のにぎわい形成

- ・中部エリアでは、八幡屋公園など公共空間において、多様なイベントが開催されています。

- ・また、八幡屋商店街では、八幡屋バルなどのイベントが定期的開催され、継続的な地域活性化の取り組みが行われています。

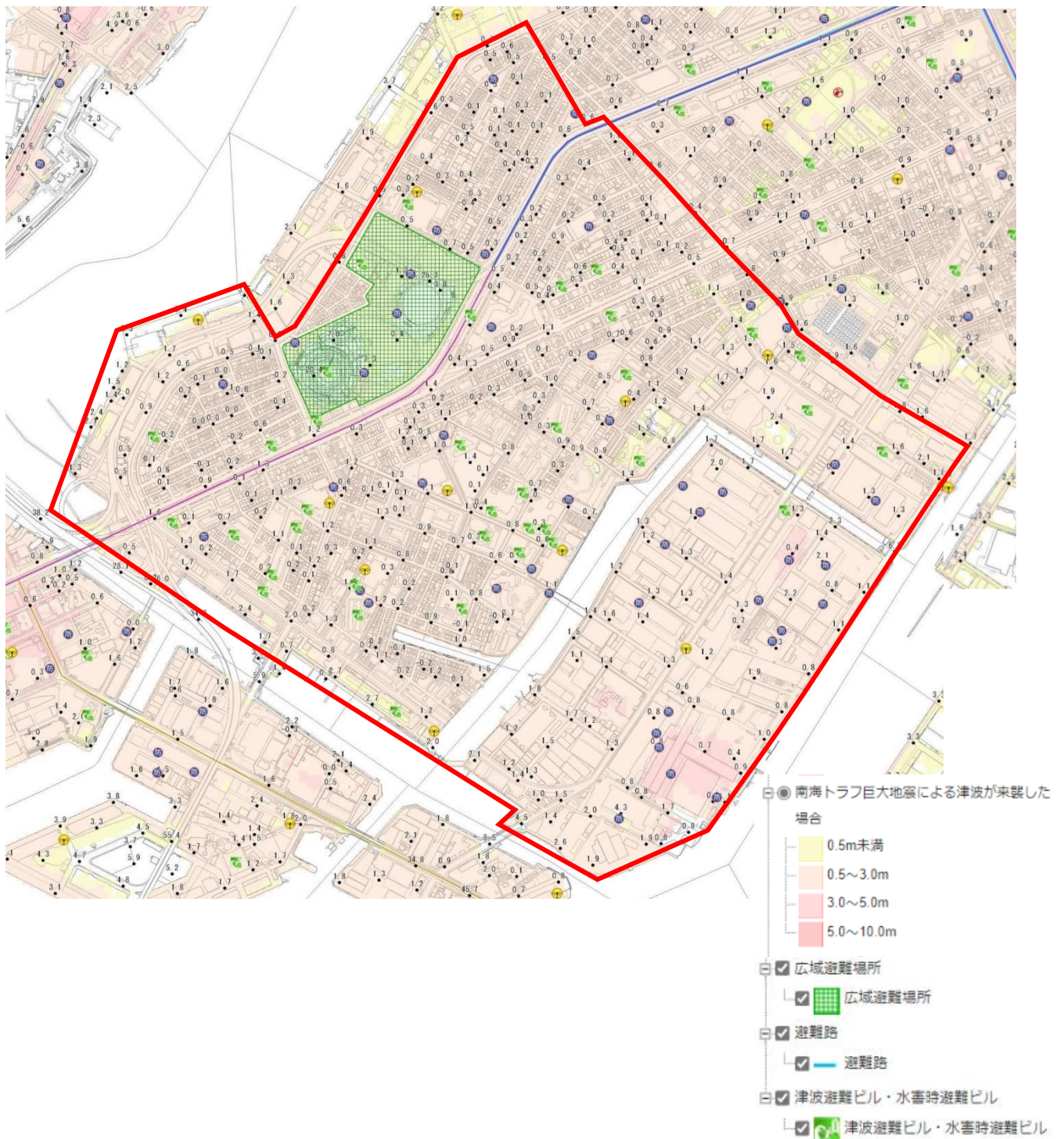
中部エリアで実施されている主なイベント

イベント名 (開催時期等)	主催	実施場所	イベント概要
八幡屋バル (年 2 回程度開催)	みなとまちかど音楽会実行委員会・八幡屋商店街振興組合	八幡屋商店街	八幡屋地域の活性化を目的とした地域主体のにぎわいづくりイベント
みなとスプリングスポーツフェスタ (5 月開催)	みなとスプリングスポーツフェスタ実行委員会・港区役所	中央体育館	地域コミュニティの促進を目的にしたイベント。区内で活動するスポーツチーム等が参画し、スポーツ体験等を実施。
みなとわんぱくまつり (9 月開催)	みなとわんぱくまつり・こどもパラダイス実行委員会・港区役所	八幡屋公園	地域コミュニティの促進を目的にしたイベント。主に子ども会が中心となり、模擬店等を実施。
港区民まつり (10 月開催)	港区民まつり実行委員会・港区役所	八幡屋公園	地域コミュニティの促進を目的にしたイベント。区内の各種団体等が参画しステージや模擬店を実施。
MINATO 芸術フェスティバル (5 月及び 10 月開催)	MINATO 芸術フェスティバル実行委員会	八幡屋公園・中央体育館	音楽イベントを中心に芸術系ジャンル全般にスポットをあて、八幡屋公園・中央体育館を核に港区全体のフェスティバル開催をめざして実施。
池島ふれあいまつり (11 月開催)	池島地域活動協議会	池島公園	毎年 11 月 23 日に開催され、地域あげてのまつりとなっている。
みなとうふれあい祭り 盆踊り (9 月頃開催)	大阪未来皆等会	入舟公園	地域住民の交流を目的に実施する盆踊り。

○防災

- ・南海トラフ巨大地震による津波が来襲した場合に想定される浸水区域は、エリア全域にわたって0.5m～3.0mの浸水が想定され、低層住宅が多いエリアについては、一時避難できる場所のさらなる確保が望めます。

南海トラフ巨大地震発生時の想定浸水区域及び津波避難ビル等の指定状況図



(画像出典：マップナビおおさか)